

2章・1節 平面上のベクトル

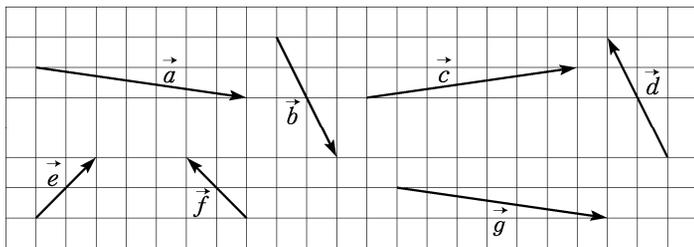
① 有向線分とベクトル

② ベクトルの加法・減法・実数倍

1 次の□をうめよ。[図]

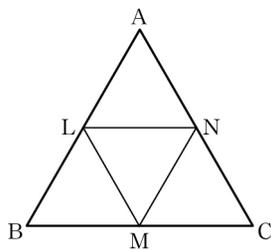
- (1) 右の図のような、点の移動を表す向きのついた線分 AB を□という。また、A を□、B を□という。
- (2) 有向線分について、その位置を問題にせず、向きと長さだけに着目したものを□という。
- (3) 有向線分 AB の表すベクトルを□と書く。また、有向線分 AB の長さをその□または長さといい、□で表す。
- (4) □が等しく□が同じである2つのベクトル \vec{a} 、 \vec{b} は等しいといい、□と書く。
- (5) ベクトル \vec{a} と大きさが等しく、□が反対のベクトルのことを \vec{a} の□といい、□で表す。
- (6) \overrightarrow{AA} は始点と終点一致したベクトルであり、□といわれ、 $\vec{0}$ で表す。
- (7) $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a} 、 \vec{b} が同じ向き、または反対向きであるとき、 \vec{a} と \vec{b} は□であるといい、□と書く。
 $\vec{a} \neq \vec{0}$ 、 $\vec{b} \neq \vec{0}$ のとき
 $\vec{a} \parallel \vec{b} \iff \square$ となる実数 k がある
- (8) 大きさが1のベクトルを□という。

2 下の図で、等しいベクトルを答えよ。また、互いに逆ベクトルであるものを答えよ。[図]



3 正三角形 ABC の各辺の中点をそれぞれ L、M、N とする。この正三角形の各頂点または各辺の中点を始点または終点とするベクトルのうち、次のベクトルを答えよ。[図]

(1) \overrightarrow{LN} と等しいベクトル



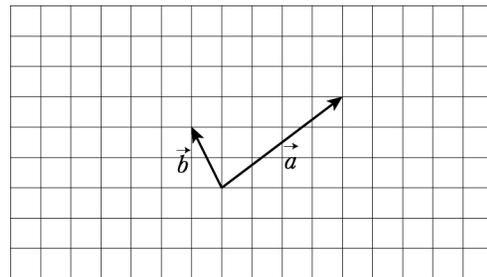
(2) \overrightarrow{LM} の逆ベクトル

(3) \overrightarrow{AM} と大きさが等しいベクトル

組	番号	名前

4 下の図のように \vec{a} 、 \vec{b} が与えられたとき、次のベクトルを図示せよ。[図]

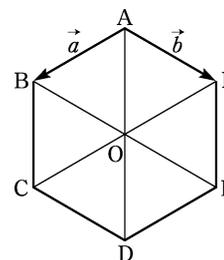
- (1) $\vec{a} + \vec{b}$
 (2) $\vec{b} - \vec{a}$
 (3) $\vec{a} - 3\vec{b}$



5 次の計算をせよ。[図]

- (1) $\vec{a} - 2\vec{a} + 5\vec{a}$
 (2) $2(\vec{a} - 3\vec{b}) - 3(\vec{a} - 2\vec{b})$

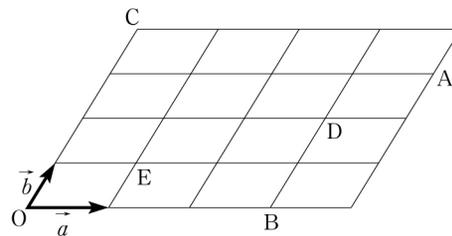
6 右の正六角形 ABCDEF において、 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$ 、 $\overrightarrow{AF} = \vec{b}$ とする。次のベクトルを \vec{a} 、 \vec{b} で表せ。[図]



- (1) \overrightarrow{BC}
 (2) \overrightarrow{EB}
 (3) \overrightarrow{FD}

7 下の図のように、大きな平行四辺形を小さな16の平行四辺形に等分した。次のベクトルを \vec{a} 、 \vec{b} で表せ。[図]

- (1) \overrightarrow{OA}
 (2) \overrightarrow{BC}
 (3) \overrightarrow{DE}



2章・1節 平面上のベクトル

③ ベクトルの成分

④ ベクトルの内積

1 次の□をうめよ。[国]

(1) $\vec{a}=(a_1, a_2)$ の大きさ $|\vec{a}|$ は, $|\vec{a}|=$ □ となる。

(2) 2点 $A(a_1, a_2)$, $B(b_1, b_2)$ のとき

(1) $\overrightarrow{AB} =$ (□)

(2) $|\overrightarrow{AB}| =$ □

(3) $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} に対し, 点 O を始点として,

$\vec{a}=\overrightarrow{OA}$, $\vec{b}=\overrightarrow{OB}$ となる点 A , B をとる。このとき,

$\angle AOB=\theta$ を \vec{a} と \vec{b} の □ という。ただし, $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ 。

また, □ を \vec{a} と \vec{b} の内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ という。

(4) $\vec{a}=(a_1, a_2)$, $\vec{b}=(b_1, b_2)$ のとき

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = \square + \square$$

(5) $\vec{0}$ でない2つのベクトル $\vec{a}=(a_1, a_2)$, $\vec{b}=(b_1, b_2)$ のなす角を θ とすると

$$\cos\theta = \frac{\square}{|\vec{a}||\vec{b}|} \quad (0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ)$$

(6) $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角が 90° であるとき, \vec{a} と \vec{b} は □ であるといい, 記号 $\vec{a} \perp \vec{b}$ で表す。

\vec{a} と \vec{b} のなす角を θ とすると, $\theta=90^\circ$ のとき, $\cos\theta =$ □ であるから,

$$\vec{a} \perp \vec{b} \iff \vec{a} \cdot \vec{b} = \square$$

さらに, $\vec{a}=(a_1, a_2)$, $\vec{b}=(b_1, b_2)$ のときには

$$\vec{a} \perp \vec{b} \iff a_1b_1 + a_2b_2 = \square$$

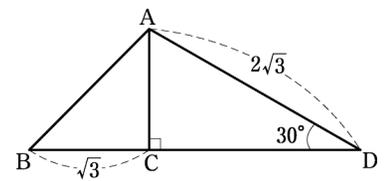
2 $\vec{a}=(-4, 3)$ のとき, \vec{a} と同じ向きに単位ベクトルを成分表示せよ。[国]

3 平面上に3点 $A(-3, 2)$, $B(1, -3)$, $C(7, 3)$ がある。四角形 $ABCD$ が平行四辺形となるような点 D の座標を求めよ。[国]

4 $\vec{a}=(2, 1)$, $\vec{b}=(-1, 3)$ のとき, $\vec{c}=(4, 9)$ を $k\vec{a}+l\vec{b}$ の形に表せ。

[国]

5 右の図のような2つの直角三角形がある。次の内積を求めよ。[国]



(1) $\overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC}$

(2) $\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{CD}$

(3) $\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{DA}$

(4) $\overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{CD}$

6 次の2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角 θ を求めよ。[国]

(1) $|\vec{a}|=2$, $|\vec{b}|=2$, $\vec{a} \cdot \vec{b}=2$

(2) $\vec{a}=(2, -1)$, $\vec{b}=(6, 2)$

7 $\vec{a}=(1, 2)$ に垂直で, 大きさが5であるベクトルを求めよ。[国]

8 $|\vec{a}|=2$, $|\vec{b}|=1$, $\vec{a} \cdot \vec{b}=-2$ のとき, $|\vec{a}-2\vec{b}|$ の値を求めよ。[国]

組	番号	名前

2章・1節 平面上のベクトル

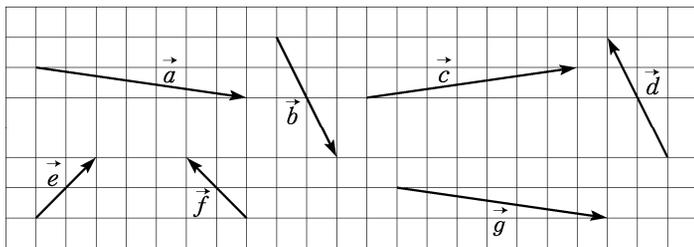
① 有向線分とベクトル

② ベクトルの加法・減法・実数倍

1 次の□をうめよ。☒

- (1) 右の図のような、点の移動を表す向きのついた線分 AB を□**有向線分**□という。また、A を□**始点**□, B を□**終点**□という。
- (2) 有向線分について、その位置を問題にせず、向きと長さだけに着目したものを□**ベクトル**□という。
- (3) 有向線分 AB の表すベクトルを□ \overrightarrow{AB} □と書く。また、有向線分 AB の長さをその□**大きさ**□または長さといい、□ $|\overrightarrow{AB}|$ □で表す。
- (4) □**大きさ**□が等しく□**向き**□が同じである2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} は等しいといい、□ $\vec{a}=\vec{b}$ □と書く。
- (5) ベクトル \vec{a} と大きさが等しく、□**向き**□が反対のベクトルのことを \vec{a} の□**逆ベクトル**□といい、□ $-\vec{a}$ □で表す。
- (6) \overrightarrow{AA} は始点と終点一致したベクトルであり、□**零ベクトル**□といわれ、 $\vec{0}$ で表す。
- (7) $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} が同じ向き、または反対向きであるとき、 \vec{a} と \vec{b} は□**平行**□であるといい、□ $\vec{a}\parallel\vec{b}$ □と書く。
 $\vec{a}\neq\vec{0}$, $\vec{b}\neq\vec{0}$ のとき
 $\vec{a}\parallel\vec{b} \iff \vec{b}=k\vec{a}$ となる実数 k がある
- (8) 大きさが1のベクトルを□**単位ベクトル**□という。

2 下の図で、等しいベクトルを答えよ。また、互いに逆ベクトルであるものを答えよ。☒

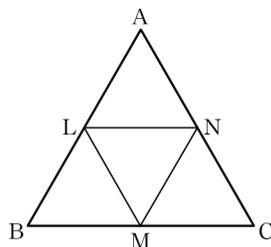


[解] 等しいベクトルは \vec{a} と \vec{g}
 互いに逆ベクトルであるものは \vec{b} と \vec{d}

3 正三角形 ABC の各辺の中点をそれぞれ L, M, N とする。この正三角形の各頂点または各辺の中点を始点または終点とするベクトルのうち、次のベクトルを答えよ。☒

(1) \overrightarrow{LN} と等しいベクトル

[解] \overrightarrow{BM} , \overrightarrow{MC}



(2) \overrightarrow{LM} の逆ベクトル

[解] \overrightarrow{ML} , \overrightarrow{CN} , \overrightarrow{NA}

(3) \overrightarrow{AM} と大きさが等しいベクトル

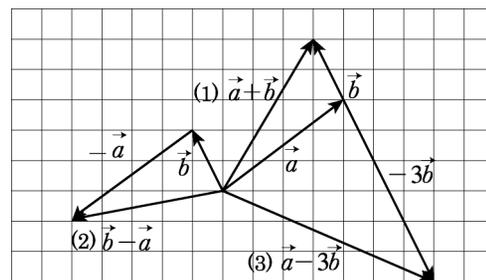
[解] \overrightarrow{MA} , \overrightarrow{BN} , \overrightarrow{NB} , \overrightarrow{CL} , \overrightarrow{LC}

組	番号	名前

4 下の図のように \vec{a} , \vec{b} が与えられたとき、次のベクトルを図示せよ。☒

- (1) $\vec{a}+\vec{b}$
 (2) $\vec{b}-\vec{a}$
 (3) $\vec{a}-3\vec{b}$

[解]



5 次の計算をせよ。☒

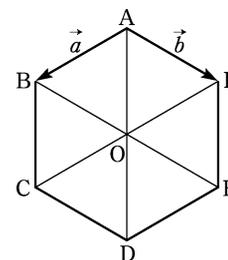
(1) $\vec{a}-2\vec{a}+5\vec{a}$

[解] $\vec{a}-2\vec{a}+5\vec{a}=(1-2+5)\vec{a}$
 $=4\vec{a}$

(2) $2(\vec{a}-3\vec{b})-3(\vec{a}-2\vec{b})$

[解] $2(\vec{a}-3\vec{b})-3(\vec{a}-2\vec{b})=2\vec{a}-6\vec{b}-3\vec{a}+6\vec{b}$
 $=(2-3)\vec{a}+(-6+6)\vec{b}$
 $=-\vec{a}$

6 右の正六角形 ABCDEF において、 $\overrightarrow{AB}=\vec{a}$, $\overrightarrow{AF}=\vec{b}$ とする。次のベクトルを \vec{a} , \vec{b} で表せ。☒



(1) \overrightarrow{BC}

[解] $\overrightarrow{BC}=\overrightarrow{AO}=\overrightarrow{AB}+\overrightarrow{BO}=\overrightarrow{AB}+\overrightarrow{AF}=\vec{a}+\vec{b}$

(2) \overrightarrow{EB}

[解] $\overrightarrow{EB}=2\overrightarrow{EO}=2\overrightarrow{FA}=-2\overrightarrow{AF}=-2\vec{b}$

(3) \overrightarrow{FD}

[解] $\overrightarrow{FD}=\overrightarrow{FC}+\overrightarrow{CD}=2\overrightarrow{AB}+\overrightarrow{AF}=2\vec{a}+\vec{b}$

7 下の図のように、大きな平行四辺形を小さな16の平行四辺形に等分した。次のベクトルを \vec{a} , \vec{b} で表せ。☒

(1) \overrightarrow{OA}

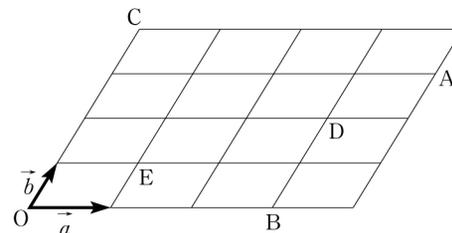
[解] $\overrightarrow{OA}=4\vec{a}+3\vec{b}$

(2) \overrightarrow{BC}

[解] $\overrightarrow{BC}=-3\vec{a}+4\vec{b}$

(3) \overrightarrow{DE}

[解] $\overrightarrow{DE}=-2\vec{a}-\vec{b}$



2章・1節 平面上のベクトル

③ ベクトルの成分

④ ベクトルの内積

1 次の□をうめよ。[図]

(1) $\vec{a}=(a_1, a_2)$ の大きさ $|\vec{a}|$ は、 $|\vec{a}|=\sqrt{a_1^2+a_2^2}$ となる。

(2) 2点 $A(a_1, a_2)$, $B(b_1, b_2)$ のとき

$$(1) \overrightarrow{AB} = (b_1 - a_1, b_2 - a_2)$$

$$(2) |\overrightarrow{AB}| = \sqrt{(b_1 - a_1)^2 + (b_2 - a_2)^2}$$

(3) $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} に対し、点 O を始点として、 $\vec{a}=\overrightarrow{OA}$, $\vec{b}=\overrightarrow{OB}$ となる点 A , B をとる。このとき、 $\angle AOB=\theta$ を \vec{a} と \vec{b} のなす角という。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ 。

また、 $|\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta$ を \vec{a} と \vec{b} の内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ という。

(4) $\vec{a}=(a_1, a_2)$, $\vec{b}=(b_1, b_2)$ のとき

$$\vec{a} \cdot \vec{b} = a_1 b_1 + a_2 b_2$$

(5) $\vec{0}$ でない2つのベクトル $\vec{a}=(a_1, a_2)$, $\vec{b}=(b_1, b_2)$ のなす角を θ とすると

$$\cos\theta = \frac{\vec{a} \cdot \vec{b}}{|\vec{a}||\vec{b}|} \quad (0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ)$$

(6) $\vec{0}$ でない2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角が 90° であるとき、 \vec{a} と \vec{b} は垂直であるといい、記号 $\vec{a} \perp \vec{b}$ で表す。

\vec{a} と \vec{b} のなす角を θ とすると、 $\theta=90^\circ$ のとき、 $\cos\theta=0$ であるから、

$$\vec{a} \perp \vec{b} \iff \vec{a} \cdot \vec{b} = 0$$

さらに、 $\vec{a}=(a_1, a_2)$, $\vec{b}=(b_1, b_2)$ のときには

$$\vec{a} \perp \vec{b} \iff a_1 b_1 + a_2 b_2 = 0$$

2 $\vec{a}=(-4, 3)$ のとき、 \vec{a} と同じ向き単位ベクトルを成分表示せよ。[図]

$$[\text{解}] \quad |\vec{a}| = \sqrt{(-4)^2 + 3^2} = 5$$

であるから、 \vec{a} と同じ向き単位ベクトルは

$$\frac{1}{5}\vec{a} = \left(-\frac{4}{5}, \frac{3}{5}\right)$$

3 平面上に3点 $A(-3, 2)$, $B(1, -3)$, $C(7, 3)$ がある。四角形 $ABCD$ が平行四辺形となるような点 D の座標を求めよ。[図]

[解] 点 D の座標を (x, y) とすると、 $\overrightarrow{AD}=\overrightarrow{BC}$ であるから

$$(x - (-3), y - 2) = (7 - 1, 3 - (-3))$$

$$\text{よって } x + 3 = 6, \quad y - 2 = 6$$

$$\text{ゆえに } x = 3, \quad y = 8 \quad \text{したがって } D(3, 8)$$

4 $\vec{a}=(2, 1)$, $\vec{b}=(-1, 3)$ のとき、 $\vec{c}=(4, 9)$ を $k\vec{a}+l\vec{b}$ の形に表せ。[図]

$$[\text{解}] \quad k\vec{a}+l\vec{b} = k(2, 1) + l(-1, 3)$$

$$= (2k - l, k + 3l)$$

これが $\vec{c}=(4, 9)$ に等しいから

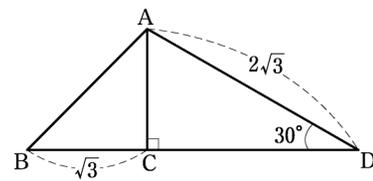
$$\begin{cases} 2k - l = 4 \\ k + 3l = 9 \end{cases}$$

これを解くと $k=3, l=2$

$$\text{ゆえに } \vec{c} = 3\vec{a} + 2\vec{b}$$

組	番号	名前

5 右の図のような2つの直角三角形がある。次の内積を求めよ。[図]



(1) $\overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC}$

$$[\text{解}] \quad AC = AD \sin 30^\circ = \sqrt{3}, \quad BC = \sqrt{3} \quad \text{であるから} \quad \angle ABC = 45^\circ$$

$$\text{よって } AB = \sqrt{6}$$

$$\text{ゆえに } \overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC} = \sqrt{6} \times \sqrt{3} \times \cos 45^\circ = 3$$

(2) $\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{CD}$

$$[\text{解}] \quad CD = AD \cos 30^\circ = 3$$

$$\text{よって } \overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{CD} = \sqrt{3} \times 3 \times \cos 90^\circ = 0$$

(3) $\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{DA}$

$$[\text{解}] \quad \overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{DA} = \sqrt{3} \times 2\sqrt{3} \times \cos 60^\circ = 3$$

(4) $\overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{CD}$

$$[\text{解}] \quad \overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{CD} = 2\sqrt{3} \times 3 \times \cos 150^\circ = -9$$

6 次の2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} のなす角 θ を求めよ。[図]

(1) $|\vec{a}|=2$, $|\vec{b}|=2$, $\vec{a} \cdot \vec{b}=2$

$$[\text{解}] \quad \cos\theta = \frac{\vec{a} \cdot \vec{b}}{|\vec{a}||\vec{b}|} = \frac{2}{2 \times 2} = \frac{1}{2}$$

$$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ \quad \text{であるから} \quad \theta = 60^\circ$$

(2) $\vec{a}=(2, -1)$, $\vec{b}=(6, 2)$

$$[\text{解}] \quad \vec{a} \cdot \vec{b} = 2 \times 6 + (-1) \times 2 = 10$$

$$|\vec{a}| = \sqrt{2^2 + (-1)^2} = \sqrt{5} \quad |\vec{b}| = \sqrt{6^2 + 2^2} = 2\sqrt{10}$$

$$\text{よって } \cos\theta = \frac{\vec{a} \cdot \vec{b}}{|\vec{a}||\vec{b}|} = \frac{10}{\sqrt{5} \times 2\sqrt{10}} = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ \quad \text{であるから} \quad \theta = 45^\circ$$

7 $\vec{a}=(1, 2)$ に垂直で、大きさが5であるベクトルを求めよ。[図]

[解] 求めるベクトルを $\vec{b}=(x, y)$ とする。

$$\vec{a} \perp \vec{b} \quad \text{であるから} \quad x + 2y = 0 \quad \dots\dots ①$$

$$|\vec{b}|=5 \quad \text{であるから} \quad x^2 + y^2 = 5^2 \quad \dots\dots ②$$

$$① \text{より} \quad x = -2y \quad \dots\dots ③$$

$$② \text{に代入すると} \quad (-2y)^2 + y^2 = 5^2$$

$$\text{よって} \quad y = \pm\sqrt{5}$$

$$③ \text{に代入すると、} \quad y = \sqrt{5} \quad \text{のとき} \quad x = -2\sqrt{5}$$

$$y = -\sqrt{5} \quad \text{のとき} \quad x = 2\sqrt{5}$$

$$\text{ゆえに、求めるベクトルは} \quad (-2\sqrt{5}, \sqrt{5}), (2\sqrt{5}, -\sqrt{5})$$

8 $|\vec{a}|=2$, $|\vec{b}|=1$, $\vec{a} \cdot \vec{b}=-2$ のとき、 $|\vec{a}-2\vec{b}|$ の値を求めよ。[図]

$$[\text{解}] \quad |\vec{a}-2\vec{b}|^2 = (\vec{a}-2\vec{b}) \cdot (\vec{a}-2\vec{b}) = \vec{a} \cdot (\vec{a}-2\vec{b}) - 2\vec{b} \cdot (\vec{a}-2\vec{b})$$

$$= \vec{a} \cdot \vec{a} - \vec{a} \cdot (2\vec{b}) - 2\vec{b} \cdot \vec{a} + 2\vec{b} \cdot (2\vec{b})$$

$$= |\vec{a}|^2 - 4\vec{a} \cdot \vec{b} + 4|\vec{b}|^2 = 2^2 - 4 \times (-2) + 4 \times 1^2 = 16$$

$$|\vec{a}-2\vec{b}| \geq 0 \quad \text{であるから} \quad |\vec{a}-2\vec{b}| = \sqrt{16} = 4$$